

教 員 業 績

フリガナ	イイダ タケオ				
氏 名	飯田 健雄				
学 歴					
年 月	事 項				
昭和 50 (1975) 年 3 月	明治大学商学部商学科卒業 (商学士)				
昭和 55 (1980) 年 3 月	明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻修士課程修了				
昭和 55 (1980) 年 3 月	政治学修士の学位授与				
昭和 55 (1980) 年 10 月	オーストラリア国立ラトループ大学大学院社会学部博士課程入学				
昭和 60 (1985) 年 7 月	オーストラリア国立ラトループ大学大学院社会学部博士課程修了				
昭和 61 (1986) 年 3 月	同大学において Ph. D. (社会学博士号) の学位授与				
職 歴					
年 月	事 項				
昭和 59 (1984) 年 4 月	オーストラリア国立ラトループ大学社会学部研究員 (昭和 61 (1986) 年 3 月まで)				
昭和 62 (1987) 年 4 月	青葉学園短期大学非常勤講師 時事問題担当 (昭和 63 (1988) 年 3 月まで)				
昭和 63 (1988) 年 4 月	学校法人田村学園多摩大学設置準備室委員 (平成 1 (1989) 年 3 月まで)				
昭和 63 (1988) 年 4 月	玉川大学工学部非常勤講師 英語講読担当 (平成 12 (2000) 年 3 月まで)				
昭和 63 (1988) 年 4 月	玉川大学文学部非常勤講師 英語学特講担当 (平成 13 (2001) 年 3 月まで)				
平成 1 (1989) 年 4 月	多摩大学助教授 多国籍企業論、演習 I II 担当助教授 (2001) 年 3 月まで)				
平成 3 (1991) 年 4 月	明治大学政経学部非常勤講師 産業社会学担当非常勤講師 (2010) 年 3 月まで)				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等					

研究分野		研究内容のキーワード		
多国籍企業論・国際経営論		多国籍企業・国際経営		
教育上の能力に関する事項				
事項		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） シリコンバレー研修(2001年9月～2004年9月, 計5回, シリコンバレー研修(2001年9月～2004年9月)		2001年9月	アメリカ・サンフランシスコ郊外にあるIT産業の集積地区シリコンバレーに大学研修の一環として学生15名ほど引率した。研修期間は約10日であり、10日間の間に約15社程度の企業を訪問した。	
ビジネス英語 平成13年9月から平成16年9月まで		2001年9月	ゼミにおいて一般的な日常英会話レベルの英語ではなく、Eメールの書き方、プレゼンテーションの仕方(VTR使用)、会議の英語を学ばせている。	
2 作成した教科書、教材、参考書 卒論作成に関するマニュアル作成・発行 平成17年4月		2005年4月	多摩大学生に適合した卒論作成に関する指導マニュアルを作成、印刷、発行し学生に配布した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 国際ビジネス会学「内部化理論の再検討」 平成14年11月		2002年11月	アパレル企業のファーストリティリングをケーススタディとして国際経営理論の再検討を行った。	
4 コーチング研究		2010年11月	コーチングの指導でゼミ学生のコミュニケーション能力を向上させている。	
5 観光インバウンド戦略研究		2015年3月3日	ゼミにおいて、鹿児島県指宿市役所観光課の職員から外国人観光客の増加戦略をヒアリングした。	
5 その他教育活動上特記すべき事項 該当なし				
職務上の実績に関する事項				
事項		年月日	概要	
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の 年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概要
(著書)				
日本の組織 戦略と形態 第15巻「多国籍企業と国際組織」	共著	1989年5月	第一法規出版	
改訂増補「社会学」学術論文	共著	1991年4月	八千代出版	海外日本経営をめぐる社会学的制約要因について探求
日本の経営 現実かイデオロギーか	単著	1991年8月	多摩大学	英文。戦後から1990年にいたる日本的経営についての理志の変遷を考究した。「TIMIS JOURNAL」掲載

時代は果たしてボーダレスなのか	単著	1992年1月	日本関税協会	日本がボーダレス社会になっていくという論考を批判した。「貿易と関税」掲載
日産はなぜ豪州から撤退したか	単著	1993年5月	毎日新聞社	オーストラリアの産業政策の変史により撤退を余儀なくされた日系企業のケース・スタディ。「週刊エコノミスト」掲載
日本的経営のパラダイム転換序説	単著	1993年12月	多摩大学	バブル崩壊によるホワイトカラーをまきこむ合理化と日本的経営の修正を叙述。「TIMIS JOURNAL」掲載
ワールズ・エンタープライズマネージャー	単著	1993年月	多摩大総研編 実教出版発行	多国籍企業の発展により21世紀は世界をまたにかけの管理者が激増する。
北米貿易自由協定におけるカナダの位置	単著	1994年2月	カナダ外務省	英文。NAFTAとカナダの貿易についての関連性の報告書
産業の空洞化再論	単著	1994年2月	日本関税協会	円高に伴う日本の産業構造の変化。「貿易と関税」掲載
国境を越えるメディアと国家の輪郭(上)	単著	1994年10月	有斐閣	メディアの逆説について論及。PR誌「書齋の窓」掲載
多国籍企業の行動指針	単著	1994年10月	日本学術振興会	英文。日米摩擦への企業レベルでの対応について。
ゆらぎのなかの社会主義	単著	1994年11月	未来社	冷戦終結後とソ連崩壊後のキューバの社会主義経済の動向を論述した。
国境を越えるメディアと国家の輪郭(下)	単著	1994年11月	有斐閣	メディアの逆説について論及。PR誌「書齋の窓」掲載
多国籍企業と競争的共存	単著	1994年12月	多摩大学	日米多国籍企業の戦略的共生について。「TIMIS JOURNAL」掲載
地域主義に関するノート	単著	1995年7月	多摩大学	冷戦崩壊後、変容する世界貿易体制とその多国籍企業へのインパクトを分析した。特に、APEC、NAFTA、EC三大地域経済圏の確立はグローバル経済の終焉につながることを予見した。「TIMIS JOURNAL」掲載
豹変する産業社会	単著	1995年10月	中央経済社	バブル経済崩壊後の日本産業社会を分析した。空洞化の進展とテクノロジーの進展における省力化はますます雇用環境を悪化させていくであろう。

遅滞するベトナム投資	単著	1995年12月	プレジデント社	日本の直接投資がベトナムで遅れている理由を分析。特にインフラの未開発、官僚の硬直性が問題とされる。
インド投資の時代	単著	1996年3月	日本評論社	1990年代のナラシンパラオ首相のもとでのインドと多国籍企業のかかわり方を分析、インドは完全に輸出志向国家になったことを結論づけた。月刊「経済セミナー」掲載
香港 アジアの平和を守る都市	単著	1996年8月	有斐閣	1997年7月に中国に返還される香港が世界経済のコア都市であるとともに東洋における摩擦の火種であることを分析した。香港の地政学上の位置からみて香港は現在アジアの平和を握る都市である。「書斎の窓」掲載
香港・シンガポールの経済戦略	単著	1996年10月	日本関税協会	平成8年10月「貿易と関税」誌上に発表。伝統的な中継貿易港の歴史をもつ香港とシンガポールの経済的比較を行った。シンガポールの場合は政府主導型で成長する。一方、香港はレッセ・フェール型の成長を遂げた
期待の巨大市場・インド	単著	1997年5月	PHP出版	インドの直接投資を経営学の視点で説明した。インドは中国とならんで21世紀の巨大市場であり、中国以上の経済的発展の可能性を遂げることも示唆した。
夢づくり国家・日本のかたち	単著	2002年2月	中央経済社	該当頁数 207頁
良い英文Eメール、悪い英文Eメール	単著	2002年6月	中経出版	該当頁数 230頁
ソニー・テレビゲーム企業の国際戦略（『ケースブック・国際経営』所収）	共著	2003年4月	有斐閣	該当頁 231～247頁
どうする卒業論文	単著	2005年9月	mimeograph	多摩大学（編・監修）
現場英語	単著	2006年月	桐原書店	一般英会話とビジネス英語の違いを強調した。
SURVIVOR-ビジネス英語は怖くない（上・中・下）	単著	2008年6月	ゼンケンキャリアセンター	ストーリーを伴ったビジネス英語の習得に主眼をおいた。
これならわかる国際経営入門	単著	2010年6月	中央経済社	国際経営の一般的知識に加えて問題もテキストに備えた。
著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				

C、W、ミルズの社会学— 公衆と権力	单著	1980年1 月	明治大学政治経済学 社会学専攻修士課程 論文	
‘Attitude Towards English: A Survey of Malaysian Chinese and Japanese Overseas Students at La Trobe University (日本語訳) 「ラトループ大学における マレーシアからきた中国系 学生と日本人留学生の英語 学習に関する比較調査」	共著	1982年月	La Trobe University, Melbourne	Paper from The Conference, Communication at the university: Purpose, Process and Product. (Edited) Hanne Bock and June Gassin pp.133-139.英文
‘The Transferability of Japanese Management Systems and Practices into Australian Companies (日本語訳)「日本の経 営のオーストラリア企業 への移転可能性」	单著	1983年月	International Management Association, Australia.	Human Resource Management, pp.23-27. 英文
‘The Reference Group of Japanese Expatriates in Australia’ (日本語訳) 「オーストラリアにおける 日本人駐在員の準拠集 団」	单著	1983年月	The University of New England	Management Forum, , 1983 pp, 20-22. 英文
The Relationship between Management Settings and organizational Problems in Australia-based Japanese subsidiaries (日本語 訳)「オーストラリア日 系企業における経営環境 と組織問題」	共著	1985年月		Ph.D、Thesis (博士論文)
‘Quality Circle in Australia’ (日本語訳)「オース トラリアにおけるクオ リティ・サークル」	共著	1985年月	The Australian Institute of Management	pp, 17-18. 英文
‘Implication for Organizational Development’ (日本語訳)「組織開 発への一試論」	单著	1985年月	The Institute of Directors in Australia	Australian Director pp.20-23
‘Life Expectancy of Companies’ (日本語訳)「会社の寿 命—オーストラリアから の視点」	单著	1986年月	The Australian Institute of Management	Management Update pp. 10-15 英文

塵気楼としての日本人町	単著	1987年 月	中経出版	「南半球評論」第4号 47～52 ページ
「日米関係における政治経済的トレンド-FSX 交渉との関連において-」	単著	1989年 11月	TIMIS JOURNAL No.3	「大学紀要」
「JAPANESE MANAGEMENT -REALITY OR IDEOLOGY-」 (日本語訳)「日本的経営-実態とイデオロギー-」	単著	1991年 7月	TIMIS JOURNAL No. 17	「大学紀要」 英文
「時代ははたしてポードレスか」	単著	1992年 1月	「貿易と関税」	59～63 ページ
「海外駐在の落とし穴」	単著	1992年 4月	『経営教育』	45～47 ページ
「日産はなぜオーストラリアから撤退したか」	単著	1992年 5月	『エコノミスト』	34～37 ページ
「日本的経営のパラダイム転換序説-産業社会からの展望-」	単著	1992年 月	TIMIS JOURNAL No. 27	
「アノミーへの旅」	単著	1993年 11月	『書齋の窓』	53～58 ページ
「したたかなベトナム」	単著	1993年 9月	『経済往来』	130～134 ページ
「産業の空洞化再論」	単著	1994年 2月	『貿易と関税』	20～27 ページ
「ブラジル散見旅行」	単著	1994年 4月	『書齋の窓』	67～73 ページ
「国境を越えるメディアと国家の輪郭」(上)	単著	1994年 10月	『書齋の窓』	59～65 ページ
「国境を越えるメディアと国家の輪郭」(下)	単著	1994年 11月	『書齋の窓』	62～67 ページ
「ゆらぎの中の社会主義-キューバにて-」	単著	1994年 12月	『未来』	26～31 ページ
「国際戦略提携と競争的共存」	単著	1994年 12月	TIMIS JOURNAL No. 40	
「なぜ日本企業はベトナム投資に逡巡するか」	単著	1995年 1月	『プレジデント』	68～171 ページ
「地域主義に関するノート-変容する世界貿易体制と多国籍企業へのインパクト」	単著	1995年 2月	TIMIS JOURNAL No. 42	

「香港とシンガポールの経済戦略」	単著	1996年8月	『貿易と関税』	20～28 ページ
「インド投資の時代」	単著	1996年3月	『経済セミナー』	38～41 ページ
「香港・アジアの平和を握る都市」	単著	1996年10月	『書齋の窓』	15～20 ページ
「多国籍企業と通貨危機」	単著	1997年1月	『貿易と関税』	32～45 ページ
「アメリカ資本主義の素描」(上)	単著	1998年3月	『書齋の窓』	39～43 ページ
「アメリカ資本主義の素描」(下)	単著	1998年4月	『書齋の窓』	45～49 ページ
「地域経済圏と中小企業」	単著	1998年10月	『海外投資ガイド』	9 ページ
「グローバル時代の国際人材・養成」	共著	1998年12月	『日外協 MONTHLY』	5～7 ページ
「中小企業における海外進出—成功と失敗事例」	単著	1999年2月	「DKB マネジメントレポート」	24～26 ページ
「松下電器—300リアル」	単著	1999年5月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「任天堂—ビジネスモデルの興亡」	単著	1999年6月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「グローバリズムの再検討—その1」	単著	1999年6月	『貿易と関税』	18～25 ページ
「アップルコンピューター—迷走への宿命」	単著	1999年7月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「グローバリズムの再検討—その2」	単著	1999年7月	『貿易と関税』	26～31 ページ
「ドレクセルバーナム—ジャンクボンドの屋」	単著	1999年8月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「グローバリズムの再検討—その3」	単著	1999年8月	『貿易と関税』	36～43 ページ
「パンナム—世界最強エアの最期」	単著	1999年9月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「危機調達戦略の終焉—その1」	単著	1999年9月	『貿易と関税』	46～51 ページ
「ソニー—永久革命の構図」	単著	1999年10月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「危機調達戦略の終焉—その2」	単著	1999年10月	『貿易と関税』	62～69 ページ
「バンクオブアメリカ」	単著	1999年11月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「カードビジネスにおける多国籍化への道」	共著	1999年11月	TAMAUNIVERSITY JOURNAL	飯田健雄・米井博敏 1～10 ページ

「危機調達戦略の終焉—その3」	単著	1999年11月	『貿易と関税』	36～41 ページ
「国際法務を強化せよ」	単著	1999年12月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「新しい共同体に向かつて—その1」	単著	1999年12月	『貿易と関税』	70～77 ページ
「金融再編から学ぶ」	単著	2000年1月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「頻死の農協」	単著	2000年2月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「新しい共同体に向かつて—その2」	著	2000年2月	『貿易と関税』	70～77 ページ
「IT 産業の衝撃」	単著	2000年3月	『RM ビジネス』	8～9 ページ
「戦国維新」	単著	2000年3月	『貿易と関税』	48～55 ページ
『多国籍企業における内部化理論の再検討試論—日本のテレビ・ゲーム産業をケーススタディとして』	単著	2000年3月	多摩大学紀要	
「クラッシュ型経済の幻想」	単著	2000年4月	『貿易と関税』	70～75 ページ
「サーフィンの社会学（上）」	単著	2000年4月	『書齋の窓』	48～51 ページ
「域益の誕生」	単著	2000年5月	『貿易と関税』	18～23 ページ
「サーフィンの社会学（中）」	単著	2000年5月	『書齋の窓』 有斐閣	48～51 ページ
「内向化する経済」	単著	2000年6月	『貿易と関税』	24 ページ～29 ページ
「サーフィンの社会学（下）」	単著	2000年7月	『書齋の窓』 有斐閣	54～57 ページ
「戦国維新 その2」	単著	2000年7月	『貿易と関税』	20～27 ページ
「21世紀に消えゆく制度」	単著	2000年8月	『貿易と関税』	108～113 ページ
「アメリカニズムとグローバリズム」	単著	2000年9月	『貿易と関税』	34～39 ページ
「繁栄と没落の岐路」	単著	2000年10月	『貿易と関税』	20～27 ページ
「21世紀を生きぬく知恵」	単著	2000年11月	『貿易と関税』	46～51 ページ
「見えざる改革に向かつて」	単著	2000年12月	『貿易と関税』	20～25 ページ
「国際経営リスクの構図」	単著	2001年6月	『リスクマネジメント』	10～11 ページ
「経営者の時代—1— 激変した企業環境」	単著	2003年5月	『貿易と関税』	46～48 ページ
「英語で読み説く経営の名著1—現代の経営／ピーター・ドラッカー」	単著	2003年6月	『企業と人材』	40～41 ページ

「経営者の時代 -2- 経営戦略論と未来予測」	単著	2003年7月	『貿易と関税』	52～55 ページ
「英語で読み説く経営の名著 2-1 分間マネジャー / K. ブランソン. S. ジョンソン」	単著	2003年7月	『企業と人材』	56～57 ページ
「英語で読み説く経営の名著 3-イノベーションのジレンマ / c. クリステンセン」	単著	2003年8月	『企業と人材』	70～71 ページ
「英語で読み説く経営の名著 4-経営者の役割 / C. バーナード」	単著	2003年9月	『企業と人材』	
「英語で読み説く経営の名著 5-ビジョナリーカンパニー / ジェームズ c. コリンズ・ジェリー I. ポラス」	単著	2003年10月	『企業と人材』	62～63 ページ
「経営者の時代 -3- 空洞化問題に潜むもの」	単著	2003年11月	『貿易と関税』	37～39 ページ
「英語で読み説く経営の名著 6-セオリー Z / ウィリアム G. オオウチ」	単著	2003年11月	『企業と人材』	58～59 ページ
「経営者の時代 -4- 中国脅威論を排する」	単著	2003年12月	『貿易と関税』	47～49 ページ
英語で読み説く経営の名著 7-GM とともに / A. P. スローン Jr.	単著	2003年12月	『企業と人材』	58～59 ページ
「経営者の時代 -5- 日本列島特区論」	単著	2004年4月	『貿易と関税』	53～55 ページ
「英語で読み説く経営の名著 8-経営戦略と組織 / アルフレッド D. チャンドラー」	単著	2004年1月	『企業と人材』	78～79 ページ
「英語で読み説く経営の名著 9-企業的人間的側面 / ダグラス・マグレガー」	単著	2004年2月	『企業と人材』	58～59 ページ
「英語で読み説く経営の名著 10-IBMの息子 / トーマス J. ワトソン Jr.」	単著	2004年3月	『企業と人材』	66～67 ページ
「英語で読み説く経営の名著 11-エクセレントカンパニー / T. J. ピーターズ. R. H. ウォーターマン」	単著	2004年4月	『企業と人材』	62～63 ページ
「経営者の時代 -6- 企業の盛衰」	単著	2004年5月	『貿易と関税』	43～45 ページ
「英語で読み説く経営の名著 12-科学的管理の原理 / フレデリック・テイラー」	単著	2004年5月	『企業と人材』	54～55 ページ
「経営者の時代 -7- アメリカ企業動向からみる近未来の日本経済(上)」	単著	2004年6月	『貿易と関税』	43～45 ページ

「経営者の時代 -8-アメリカ企業動向からみる近未来の日本経済(下)」	単著	2004年7月	『貿易と関税』	42~45 ページ
「経営者の時代 -9-外資の時代」	単著	2005年2月	『貿易と関税』	46~53 ページ
「経営者の時代 -10-アメリカにおける企業家精神」	単著	2005年3月	『貿易と関税』	26~33 ページ
“How SCE established the global success in the videogame industry (日本語訳) 「いかにソニー・エンタテインメントはビデオゲーム業界でグローバル規模の成功をおさめたか」	単著	2005年月	多摩大学紀要『経営・情報研究』、No.9	英文 p p、79-101
「経営者の時代-11-ロジスティクス革命」	単著	2005年5月	『貿易と関税』	42~51 ページ
“The Strategy of Fast Retailing-Exploring the Organizational Growth and Success” (日本語訳)「ファーストリテイリングの戦略—組織成長と成功の探求」	単著	2006年月	多摩大学紀要経営・情報研究』 No.10	英文
「経営者の時代 -12-21世紀の貿易の構図」	単著	2006年7月	『貿易と関税』	1~13 ページ
「ジャパン・ブランドの輪郭」(上)	単著	2008年1月	『貿易と関税』	62~71 ページ
「変革型リーダーシップとその研修について考える」	単著	2008年1月	『企業と人材』	32~37 ページ
“A Tentative Analysis Of TPS in the U.S.” (日本語訳)「アメリカにおけるトヨタ生産方式の試験的分析」	単著	2008年月	多摩大学紀要『経営・情報研究』 No.12.	英文
「ジャパン・ブランドの輪郭」(中)	単著	2008年3月	『貿易と関税』	56~65 ページ
「ジャパン・ブランドの輪郭」(下-1)	単著	2009年7月	『貿易と関税』	42~47ページ
「ジャパン・ブランドの輪郭」(下-2)	単著	2009年11月	『貿易と関税』	47~52ページ
「ジャパン・ブランドの輪郭」(下-3)	単著	2010年1月	『貿易』と関税』	28~36ページ
オヤジたちのマックス・ウェーバー論(1)	単著	2010年3月	『書齋の窓』	30~33ページ
オヤジたちのマックス・ウェーバー論(2)	単著	2010年4月	『書齋の窓』	45~50ページ

オヤジたちのマックス・ウェーバー論(3)	単著	2010年5月	『書齋の窓』	43～47ページ
どうするビジネス英語	単著	2011年1月	『企業と人材』	38～44ページ
親を思う年頃	単著	2012年6月	TASC MONTHLY	38ページ
民営化型インフラ輸出の時代 I	単著	2012年7月	貿易と関税	35～40ページ
Strategic Inconsistency	単著	2013年2月	多摩大学紀要	1～26ページ
民営化型インフラ輸出の時代 II	単著	2013年3月	貿易と関税	34～43ページ
民営化型インフラ輸出の時代III	単著	2015年5月	貿易と関税	61～74ページ
民営化型インフラ輸出の時代IV	単著	2016年6月	貿易と関税	88～97ページ
民営化型インフラ輸出の時代V	単著	2016年7月	貿易と関税	64～74ページ
グーグルというビヒモスという素描	単著	2017年3月	経営情報研究「多摩大学紀要」117～123ページ。 No. 21 2017	
書評「Work Rules」	単著	2018年3月	経営情報研究「多摩大学紀要」143～150ページ,	
著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の 年月	発行所、発表雑誌等又は 学会等の名称	概 要
国家戦略としてのジャパン・ブランド	単著	2010年5月	Tasc Monthly, May	8～12ページ
(その他)				
The Report to the Canadian Embassy in Tokyo-with reference to The impact of NAFTA on Canada 「北米自由貿易協定をめぐるカナダへのインパクト」	単著	1994 年月	在日カナダ大使館	在日カナダ大使館への研究助成調査報告書

The Report to MNC Working Group-The Success and Failure of the U.S. and Japanese Multinational Corporations in the Environments different from the Home Countries. With Collaboration of National Research Council	単著	1995 年月	日本学術振興会第 149 委員会	日本学術振興会第 149 委員会 (多国籍企業と国際環境) への報告書
アンソニー・ギデンズの因果性分析—その意外性への一考察	単著	1994 年 10 月	明治大学	学会発表 明治大学社会構造研究会
アジア的個人主義の可能性—儒教的世界観の転回点	単著	1995 年 10 月	明治大学	学会発表 明治大学社会構造研究会
サーフィンの社会学	単著	1918 年 12 月	明治大学	学会発表 明治大学社会構造研究会
多国籍企業における内部化理論の再検討	単著	2000 年 10 月	東京大学	学会発表 国際ビジネス学会
Transfer of Management and Practices Case Study of TPS-	単著	2007 年 6 月	早稲田大学	学会発表 国際ビジネス学会
民営化型インフラの研究	単著	2013 年 4 月	早稲田大学	学会発表 国際ビジネス学会